



この写真は大気社の海外拠点があるラオスの世界遺産、ルアンパバーンにある寺院、ワット・シェントーンです。



株式会社 **大気社**

2021年3月期(2020年度)
業績予想

決算説明資料 追加資料

2020年8月11日

Copyright 2020 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

1 2021年3月期業績予想

事業部別予想値

単位：億円

	2019.3			2020.3			2021.3								
	環境システム	塗装システム	全社	環境システム	塗装システム	全社	環境システム			塗装システム			全社		
							上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)
受注工事高	1,585	833	2,418	1,605	663	2,269	550	750	1,300	350	370	720	900	1,120	2,020
完成工事高	1,491	762	2,254	1,573	680	2,253	565	735	1,300	240	490	730	805	1,225	2,030
営業利益	131	14	140	135	27	154	42	64	106	-10	22	12	31	79	110
(同率)	8.8%	2.0%	6.2%	8.6%	4.1%	6.9%	7.4%	8.7%	8.2%	-4.2%	4.5%	1.6%	3.9%	6.4%	5.4%
経常利益	135	16	150	138	28	159	44	64	108	-8	21	13	39	81	120
(同率)	9.1%	2.2%	6.7%	8.8%	4.1%	7.1%	7.8%	8.7%	8.3%	-3.3%	4.3%	1.8%	4.8%	6.6%	5.9%
純利益	-	-	88	-	-	91	-	-	-	-	-	-	29	51	80
(同率)	-	-	3.9%	-	-	4.1%	-	-	-	-	-	-	3.6%	4.2%	3.9%

① 2019年3月期決算為替レート：1USD=110.58円、1ユーロ=130.38円、1タイバツ=3.42円

② 2020年3月期決算為替レート：1USD=109.37円、1ユーロ=122.51円、1タイバツ=3.52円

③ 2021年3月期想定為替レート：1USD=106.00円、1ユーロ=117.00円、1タイバツ=3.49円

 ※2021年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額
 ⇒受注・完工：約1.0億円、 経常利益：約0.3億円

①と②の為替差による影響 完成工事高：△17.8億円、経常利益：△0.5億円

これより2021年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

当頁は事業部別の予想値となります。

想定為替レートにつきましては、スライド下部に記載しております。

また、為替差による影響についても記載しておりますので、合わせてご確認ください。

1 2021年3月期業績予想

受注工事高

単位：億円

	2020.3 実績 A			2021.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注工事高	1,184	1,084	2,269	900	1,120	2,020	-284	35	-249
(うち国内)	(666)	(579)	(1,245)	(407)	(628)	(1,035)	(△259)	(48)	(△210)
(うち海外)	(518)	(504)	(1,023)	(493)	(492)	(985)	(△25)	(△12)	(△38)
環境システム事業	786	819	1,605	550	750	1,300	-236	-69	-305
ビル空調	235	241	477	104	251	355	-131	9	-122
産業空調	550	577	1,127	446	499	945	-104	-78	-182
(うち国内)	(360)	(271)	(632)	(249)	(309)	(558)	(△111)	(37)	(△74)
(うち海外)	(189)	(305)	(495)	(197)	(190)	(387)	(7)	(△115)	(△108)
塗装システム事業	398	265	663	350	370	720	-48	104	56
(うち国内)	(69)	(66)	(136)	(54)	(68)	(122)	(△15)	(1)	(△14)
(うち海外)	(328)	(199)	(527)	(296)	(302)	(598)	(△32)	(102)	(70)

(環境システム事業部)

- 首都圏におけるオフィスビルの建設需要は、旧耐震基準のビルの建て替え・リニューアル、再開発等のニーズなど、中長期的には底堅く推移する見通しであるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、足元においては短期的に投資を先送りする動きが見受けられる。
- 国内外ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、最終製品の需要が減少し、各メーカーによる設備投資は調整局面が継続する見込み。

(塗装システム事業部)

- 今期の受注工事高の予想金額については、前期においていくつかの案件の投資タイミングが今期に先送りになった影響により反動増となる見通し。

当頁は、受注工事高の事業分野ごとの内訳につきましてお示しております。

当期の受注工事高は全社では249億円減少し、2,020億円となる見込みです。

市場環境の見通しについてご説明いたしますと、首都圏におけるオフィスビルの建設需要は、旧耐震基準のビルの建て替え・リニューアル、再開発等のニーズなど、中長期的には底堅く推移する見通しですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、足元においては短期的に投資を先送りする動きが見受けられます。

また、産業空調分野は国内外ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気悪化に伴い、最終製品の需要が減少し、各メーカーによる設備投資は調整局面が継続する見込みです。

塗装システム事業では、今期の受注工事高の予想金額については、前期においていくつかの案件の投資タイミングが今期に先送りになった影響により反動増となる見通しです。

1 2021年3月期業績予想
完成工事高

単位：億円

	2020.3 実績 A			2021.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
完成工事高	1,049	1,204	2,253	805	1,225	2,030	-244	20	-223
(うち国内)	(642)	(680)	(1,323)	(480)	(572)	(1,052)	(△162)	(△108)	(△271)
(うち海外)	(407)	(523)	(930)	(325)	(653)	(978)	(△82)	(129)	(47)
環境システム事業	761	812	1,573	565	735	1,300	-196	-77	-273
ビル空調	251	298	549	166	194	360	-85	-104	-189
産業空調	510	513	1,024	399	541	940	-111	27	-84
(うち国内)	(334)	(300)	(634)	(264)	(294)	(558)	(△70)	(△6)	(△76)
(うち海外)	(176)	(213)	(389)	(135)	(247)	(382)	(△41)	(33)	(△7)
塗装システム事業	288	391	680	240	490	730	-48	98	49
(うち国内)	(57)	(81)	(139)	(50)	(84)	(134)	(△7)	(2)	(△5)
(うち海外)	(230)	(309)	(540)	(190)	(406)	(596)	(△40)	(96)	(55)

- ・ビル空調分野は、前期において竣工を迎える大型再開発案件が多かったことにより反動減となる見通し。
- ・国内の産業空調は、前期上期において大型案件の工事進捗が寄与したことによる反動減となる見通し。
- ・海外は産業空調、塗装事業ともに、上期においてはコロナウイルス感染症拡大による工事進捗への影響もあり、減少する見通しです。

当頁は、完成工事高の事業分野ごとの内訳につきましてお示しております。

当期の完成工事高は全社では223億円減少し、2,030億円となる見込みです。

ビル空調分野は、前期において竣工を迎える大型再開発案件が多かったことにより反動減となる見通しです。

また、国内の産業空調は、前期上期において大型案件の工事進捗が寄与したことによる反動減となる見通しです。

海外は産業空調、塗装事業ともに、上期においてはコロナウイルス感染症拡大による工事進捗への影響もあり、減少する見通しです。

1 2021年3月期業績予想

利益

単位：億円

	2020.3 実績 A			2021.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	76	83	159	39	81	120	-37	-2	-39
(同率)	7.3%	6.9%	7.1%	4.8%	6.6%	5.9%	-2.5%	-0.3%	-1.2%
環境システム事業	74	64	138	44	64	108	-30	△0	-30
(同率)	9.8%	7.9%	8.8%	7.8%	8.7%	8.3%	-2.0%	0.8%	-0.5%
塗装システム事業	5	22	28	-8	21	13	-13	-1	-15
(同率)	1.8%	5.8%	4.1%	-3.3%	4.3%	1.8%	-5.2%	-1.6%	-2.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	53	37	91	29	51	80	-24	13	-11
(同率)	5.1%	3.1%	4.1%	3.6%	4.2%	3.9%	-1.5%	1.0%	-0.1%

【経常利益】

(環境システム事業部)

完成工事高が前期比で大幅に減少することにより、減益となる見通し。

(塗装システム事業部)

比較的競争環境の厳しい地域における案件の増加に伴う収益性の低下により、減益となる見通し。

当頁は、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益につきましてお示ししております。

経常利益は全社では39億円減少し、120億円となる見込みです。

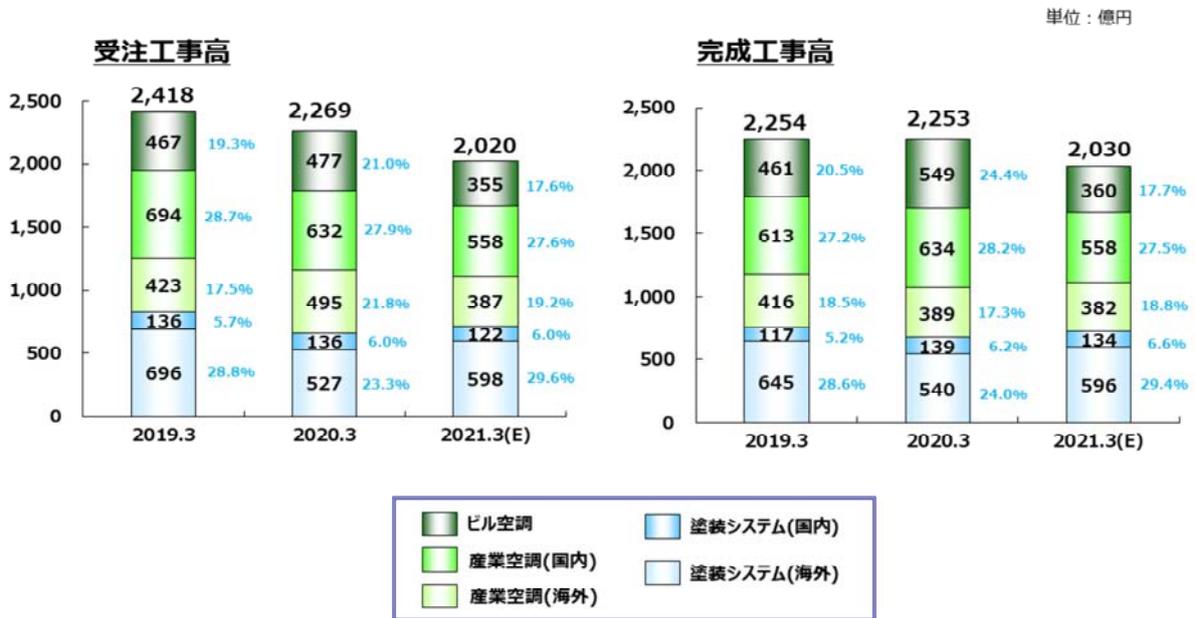
環境システム事業は、完成工事高が前期比で大幅に減少することにより、減益となる見通しです。

塗装システム事業では、比較的競争環境の厳しい地域における案件の増加に伴う収益性の低下により、減益となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は11億減少し、80億円となる見込みです。

1 2021年3月期業績予想

事業別予想値

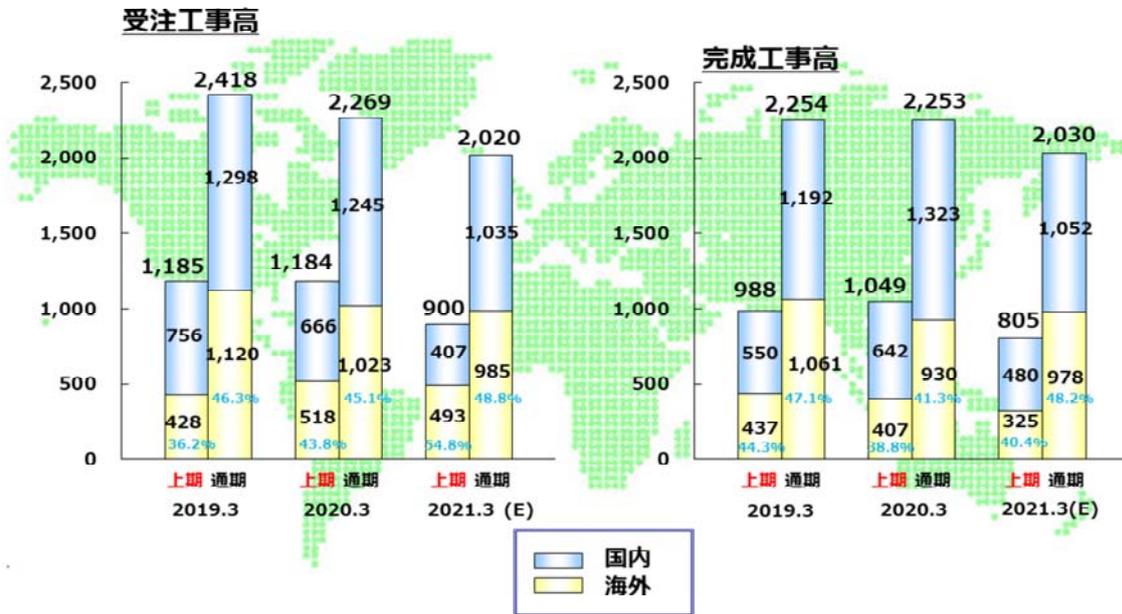


6ページから9ページは全社および各事業における受注工事高、完成工事高の業績予想をお示しておりますのでご参照ください。

1 2021年3月期業績予想

全社 (国内/海外別)

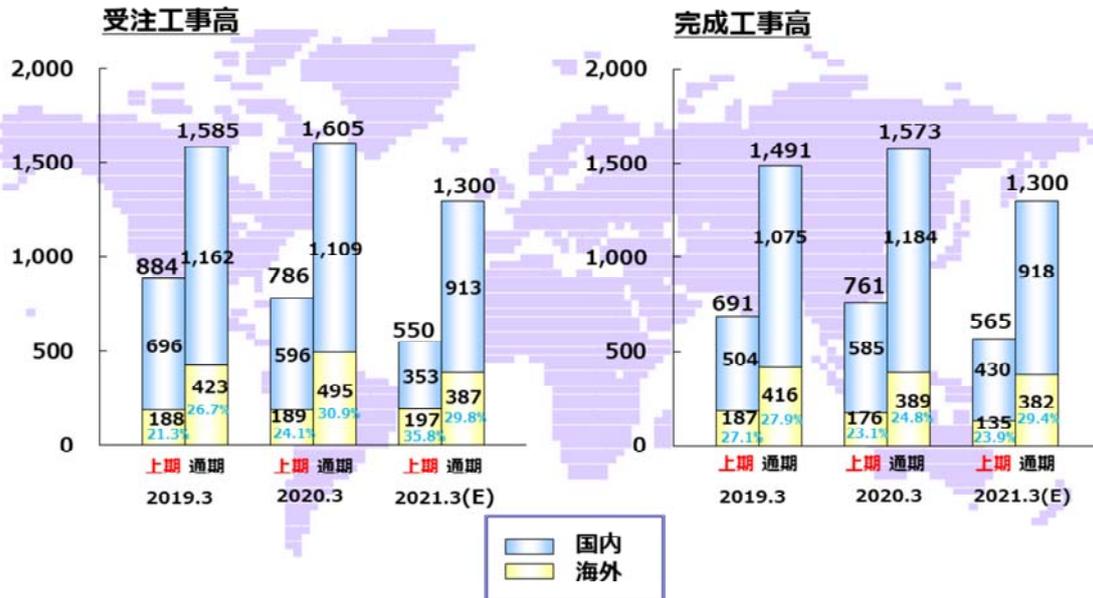
(単位:億円)
(%:海外比率)



1 2021年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

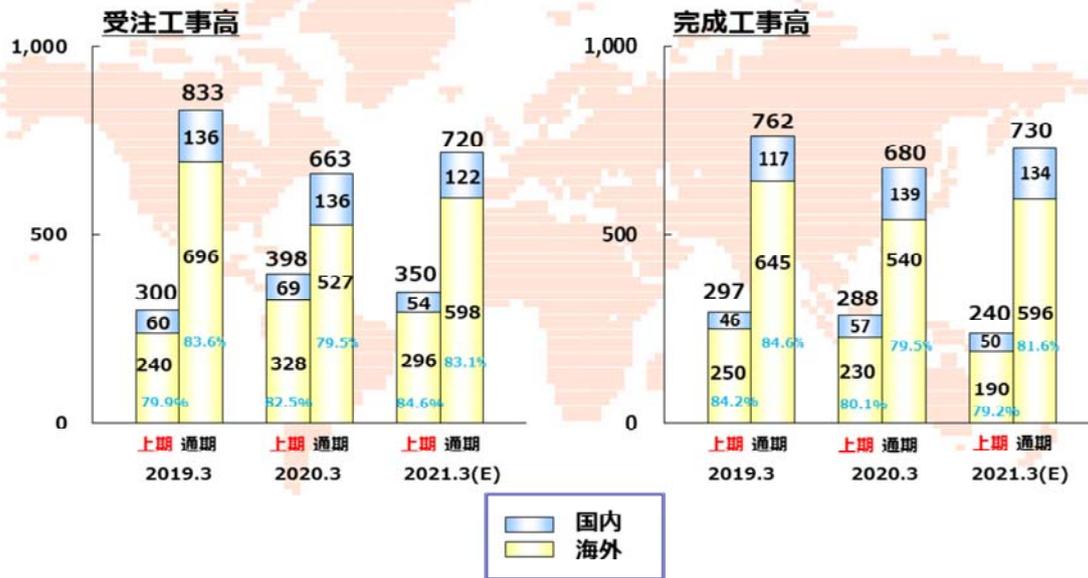
(単位:億円)
(%:海外比率)



1 2021年3月期業績予想

塗装システム事業（国内／海外別）

(単位:億円)
(%:海外比率)



2 株主還元

自己株式の取得・消却

取得実績				消却実績			
実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)	実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2005年12月	40	1,933	77	2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2006年 2月	597	1,780	1,062	2018年 2月	1,700	2,443	4,154
2006年7,8月	500	1,401	700				
2011年 8月	300	1,576	472				
2012年11月	600	1,614	968				
2013年12月	800	2,170	1,736	<u>処分実績</u> (ESOPにて)			
2015年 5月	680	3,245	2,206	実施年月	株数 (千株)	単価 (円)	金額 (百万円)
2016年11月	356	2,805	999	2013年 2月	180	1,860	334
2017年11,12月	136	3,654	499				

当頁は、自社株式の取得・消却実績についてお示ししています。

基本方針としましては、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自社株取得・消却を弾力的に実施していきます。

2 株主還元

当期純利益と配当の推移



連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針とする。
2021年3月期の1株当たり年間配当予想金額は90円。(配当性向38.3%)

当頁においては、配当についてご説明いたします。

当社は、利益配当金による株主の皆様への利益還元を最重要施策のひとつとして考え、連結配当性向35%を目標とし、かつ、安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。2021年3月期の年間配当予想金額につきましては、業績及び当配当方針を総合的に勘案した結果、1株当たり90円といたしました。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 管理本部 企画・広報課

TEL : 03-5338-5052 FAX : 03-5338-5195